

## 第17回定期大会を開催!!

### スローガン

- ・ 反核！反原発！働く者が主人公となる社会の実現に向けて広範に連帯をつくりだそう！
- ・ 職場で労働者魂を発揮して更なる組織拡大を実現しよう！

7月10日、J R 東海 労新幹線 関西 地本は、第17回定期大会を大阪市立市民交流センターひがしよどがわにおいて、多くの傍聴者、OB、来賓の方々に参加して頂き開催しました。

大会は、康乗副委員長の司会で開会され、議長に村上代議員（名古屋車両所分会）、高橋代議員（大1運輸所分会）を選出し議事が進められました。

地本執行委員会を代表して、小林委員長は「東日本大震災で被災された方々への支援物資、義援金への取り組みの御礼」「原発事故を目の当たりにし、この国と企業の本性がどういうものか見えてきた、真実をもっと広めていき働く者が主人公となる社会をつくっていくために広範な連帯をつくり出して行こう」「福島第一原発事故の現実を見たとき、労働組合としての存在意義とチェック機能が問われている。私たちは、J R 東海においてチェック機能を果たして行かなければならない」と挨拶を行いました。



質疑では、「反弹圧20年の闘い」「組織強化・拡大の闘い」「酒気帯びデッチ上げ報復処分に抗する連帯の闘い」「異常添乗・パワハラの実態」「原発問題」など、全代議員から発言がありました。その後、各部答弁と小林本部書記長から感想を受け、総括答弁では湊書記長が「東二運分会の仲間が先頭で闘う報復処分撤回裁判に連帯し断固闘って行こう」「東海労結成20年で培った労働者魂を発揮し、職場からの闘いをつくり出して行こう」と、これからの一年間の闘う決意を明らかにし、スローガン（案）、予算（案）、運動方針（案）が承認されました。

最後に、久保木副委員長の被災地への思い、原発問題に対する熱き思いを込めた閉会の挨拶を受け、反原発の闘いを広範につくり出し、さらなる組織拡大に向け全力で闘うことを全体で確認し、小林委員長の団結ガンバローで大会は成功裡に終了しました。